

ARTS for HOPE



宮城チーム活動報告書 2014年10月4日

仙台・岡田児童館 「ハロウィンパーティー」

ARTS for HOPE も、昨年から、フェイスペインティングの係で参加しています。今年のオープニングは、児童館スタッフが作ったアニメーションと、職員の皆様奏でる生効果音による「ドラキュラと魔女」のオハナシからスタートしました。事前に、職員製作のアニメがあることは聞いていたのですが、なんと作家さんはバイオリンとキーボードも担当。二ヶ月かかったという作品の完成度はこれをもって興行もできそうな出来具合、本当に素晴らしいものでした。

その後、各担当ブースでのお仕事になるのですが、今年は高砂中学校の美術部の生徒さんと先生も一緒にコーナーを任せてもらうことになり、若い力があふれます。中学生たちは、お互いの顔や腕などに様々な絵を描きあったりして盛り上がり、子どもたちもそこに混ざってくる感じです。まぶたにレディガガみたいなもうひとつの目を描いたり、可愛い猫やハートを描いてもらう女の子たちも。去年に比べ、おどろおどろしい血を描いてほしいというひとは少なく、目の下にくまを描いてほしいと言ってきた女の子がひとり。全体的に、お姫様チックな子が多かった印象です。男の子に、安倍晴明らしき衣装の子がいたのが、なかなかチョイスかと思った次第です。

ARTS for HOPE のワークショップで仕上げた水鉄砲アートの作品が、お化け屋敷の入口ののれんに。そして、ハロウィンのコウモリになった再デビューしていたことがうれしかったかな。

児童館育ちの小学生の高学年の懐かしい顔の子どもたちが、パーティーのお客様としてやってきていて、久々に挨拶を交わすこともでき、うれしい
再会も味わえた
岡田児童館のハロウィンでありました。

